

# 令和6年度 シラバス

2024.4□

教科	科目名	単位数	クラス
国語	文学国語	2	3年
使用教科書	高等学校標準文学国語(第一学習社)	使用副教材	国語便覧 現代文必携 学習課題集

目標	生涯にわたる社会生活に必要な知識、技能を身に付け、言語文化に対する理解を深める。 また、創造的に考える力を養い、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	10 (10)	1 現代の小説(三)「旅する本」	小説・詩 春課題テスト ○文脈に即して語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きしているか。(知) ○本文の内容を理解しているか。(知)
	5	10 (20)	言葉に関する一般常識	
	6	12 (32)	2 近代の小説(二)「山月記」	一学期中間考査 ○本文を段落に分けて展開をとらえ、登場人物の心情とその変化を本文での描写に即して説明できるか。(思) ○小説の豊かな言語表現に関心をもち、幅広い読書を通じて親しもうとしている。(主)
	7	5 (37)	表現活動	
	8	5 (42)		夏課題テスト
	9	7 (49)	3 近代の詩「永訣の朝」	一学期期末考査
1学期計		(49)		
二学期	10	5 (5)	4 現代の小説(四)「卒業」	表現活動 ○漢字、語句等の既習事項を活かして表現しようとしているか。(知)
	11	7 (12)	表現活動	
	12	7 (19)	5 戦争と文学(二)「夏の花」	二学期中間考査 ○教科書本文やその他の資料を参考にしながら、さらに自分の考えを深めて表現しようとしているか。(思)
	1	5 (24)	まとめ	
	2	0 (24)		冬課題テスト
	3	0 (24)		二学期期末考査
2学期計		24		※授業の様子、ワークシート、テストで確認
授業時間総計		(73)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
国語	国語表現	2	3年選択
使用教科書	国語表現(大修館書店)	使用副教材	国語便覧 基礎練習ノート

目標	実社会に必要な国語の知識・技能を身に付ける。また、実社会における他者との多様な関りの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げ、深める。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	5 (5)	志望理由書	○漢字・語句等(知)【テスト】 ○言葉の働きを理解しているか。(知) 【授業・テスト】 ○文章の種類を踏まえて内容等を的確にとらえて表現しているか。(思) 【授業・テスト】 ○日常使用する言葉を見つめ直し、さまざまな機会を捉えて表現しようとしているか。(主) 【提出物】 ※それぞれ授業の様子、ワークシート、テスト、提出物で確認
	5	8 (13)	効果的な自己PR	
	6	8 (21)	1中間テスト	
	7	5 (26)	面接にチャレンジ①	
	8	2 (28)	面接にチャレンジ②	
	9	6 (34)	グループディスカッション 1期末テスト	
1学期計		(34)		
二学期	10	7 (7)	通信文を書き分ける	2中間テスト
	11	8 (15)	メディアを考える	
	12	6 (21)	表現を楽しむ①	
	1	6 (27)	表現を楽しむ② 2期末テスト	
	2	0 (27)		
	3	0 (27)		
2学期計		27		
授業時間総計		(61)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
地歴	日本史探究	2	3年選択
使用教科書	精選日本史探究(実教出版)	使用副教材	プロムナード日本史(浜島書店)

目標	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
----	---

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	6 (6)	4 近現代の地域・日本と世界 大日本帝国の形成	○基本的事象を理解できたか(知) ○自己の考えをまとめることができたか(思) ○積極的に課題等に取り組んだか(主知) ○知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか(思) ○より難易度の高い課題に取り組むだか(主) ○学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか(主思)
	5	8 (14)	文明開化と富国強兵 自由民権運動と大日本帝国憲法	
	6	6 (20)	大日本帝国とデモクラシー	
	7	4 (24)	日清・日露戦争 社会問題と地域社会	
	8	4 (28)	大正デモクラシー 第一次世界大戦と日本	
	9	6 (34)	資本主義の成長	
	1学期計		(34)	
二学期	10	6 (6)	アジアの戦争と第二次世界大戦 普通選挙と治安維持法	○基本的事象を理解できたか(知) ○自己の考えをまとめることができたか(思) ○積極的に課題等に取り組んだか(主知) ○知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか(思) ○より難易度の高い課題に取り組むだか(主) ○学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか(主思)
	11	6 (12)	満州事変 日中戦争	
	12	6 (18)	アジア太平洋戦争 現代日本社会の形成と展開	
	1	4 (22)	占領と日本国憲法 高度経済成長と平成へ	
	2	6 (28)		
	3	0 (28)		
2学期計		28		
授業時間総計		(62)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
地歴	倫理	2	3年A組(選択)
使用教科書	倫理 第一学習社	使用副教材	倫理ノート 第一学習社

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間の心と自己形成について、自分で考え行動できるようにする。</li> <li>○ さまざまな、思想・宗教を学ぶことをとおして、自らの人生をより豊かなものにする。</li> <li>○ 現代社会の諸問題を倫理的視点から見られることを目指す。</li> </ul>
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	5 (5)	人間の心と自己形成 青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的事象を理解できたか(知)</li> <li>○ 自己の考えをまとめることができたか(思)</li> <li>○ 積極的に課題等に取り組んだか(主知)</li> <li>○ 知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか(思)</li> <li>○ より難易度の高い課題に取り組むだか(主)</li> <li>○ 学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか(主思)</li> </ul>
	5	6 (11)	人間の存在や価値と宗教	
	6	7 (18)	ギリシアの思想	
	7	5 (23)	ユダヤ教とキリスト教	
	8	2 (25)	イスラーム	
	9	5 (30)	仏教	
1学期計		(30)		
二学期	10	7 (7)	中国の思想 人間の尊厳とルネサンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本的事象を理解できたか(知)</li> <li>○ 自己の考えをまとめることができたか(思)</li> <li>○ 積極的に課題等に取り組んだか(主知)</li> <li>○ 知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか(思)</li> <li>○ より難易度の高い課題に取り組むだか(主)</li> <li>○ 学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか(主思)</li> </ul>
	11	8 (15)	科学革命 自由で平等な社会を	
	12	5 (20)	現代の諸課題と倫理 生命の問題	
	1	5 (25)	地球環境の問題 ふりかえり	
	2	0 (25)		
	3	0 (25)		
2学期計		25		
授業時間総計		(55)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
地歴	政治経済	2	3年A組
使用教科書	最新 政治・経済 実教出版	使用副教材	最新政治・経済演習ノート

目標	<p>○民主主義の本質を理解させ、現代社会の諸問題について自ら探究する能力を養う。</p> <p>○随時、外部から講師等を招請して、社会とのつながりを理解できるように授業を構築する。</p>
----	---

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	6 (6)	第1編 現代の政治 ○民主政治の基本原則(1)	○基本的事象を理解できたか(知) ○自己の考えをまとめることができたか(思)
	5	7 (13)	○民主政治の基本原則(2) ○日本国憲法と基本的人権(1)	○積極的に課題等に取り組んだか(主知) ○知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか(思)
	6	5 (18)	○日本国憲法と基本的人権(2) ○日本の平和主義と安全保障(1)	○より難易度の高い課題に取り組むだか(主) ○学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか(主思)
	7	6 (24)	○日本の平和主義と安全保障(2) ○日本の平和主義と安全保障(3)	
	8	4 (28)	○日本の政治機構(1) ○日本の政治機構(2)	
	9	5 (33)	○日本の政治機構(3)	
	1学期計		(33)	
二学期	10	7 (7)	第2編 現代の経済 ○現代経済の特質(1)	○基本的事象を理解できたか(知) ○自己の考えをまとめることができたか(思)
	11	8 (15)	○現代経済の特質(2) ○現代日本の経済(1)	○積極的に課題等に取り組んだか(主知) ○知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか(思)
	12	5 (20)	○現代日本の経済(2) ○現代日本の経済(3)	○より難易度の高い課題に取り組むだか(主) ○学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか(主思)
	1	4 (24)	○国際経済と日本(1) ○国際経済と日本(2)	
	2	0 (24)	第3編 現代政治・経済の諸課題 ○現代日本の諸課題	
	3	0 (24)	○国際社会の諸課題 ○1年間をふりかえる	
2学期計		24		
授業時間総計		(57)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
数学	数学Ⅱ	4	3年
使用教科書	数研 数Ⅱ 331 新高校の数学Ⅱ		使用副教材 数研出版編集部編 ポイントノート数学Ⅱ

目標	いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに, それらを活用する態度を育てる。
----	---

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	12 (12)	数学Ⅰ、数学Aの復習 課題テスト	○正確に速く計算できたか(知)[提出物・テスト] ○概念や原理・法則を理解し, 数式や図に正しく表現できたか(知思)[提出物・テスト] ○計算等の結果に対し, 正しく数学的な判断や分析を下せたか(思)[提出物・テスト] ○数や式・図形に対し, 多面的にとらえ関連付けながら論理的に考察できたか(思)[提出物・テスト] ○基本的な課題に真面目に取り組んだか(主)[提出物] ○より難易度の高い課題に積極的に取り組んだか(思主)[提出物] ○学習過程を振り返り, 考察を深めたり, 評価・改善しようとしたか(主)[提出物]
	5	17 (29)	1章 複素数と方程式 1節 式の計算, 2節 複素数と方程式 3節 式と証明	
	6	13 (42)	2章 図形と方程式 1節 点と直線 中間考査	
	7	10 (52)	2節 円	
	8	7 (59)	課題テスト 第3章 三角関数	
	9	12 (71)	期末考査	
	1学期計		(71)	
二学期	10	12 (12)	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数	一学期と同様
	11	15 (27)	2節 対数関数	
	12	13 (40)	分法 1節 微分法 中間考査	
	1	10 (50)	2節 積分法 課題テスト	
	2	0 (50)	期末考査	
	3	0 (50)		
2学期計		50		
授業時間総計		(121)		

# 令和6年度 シラバス

2023.4

教科	科目名	単位数	クラス
理科	化学基礎	3	3年A組
使用教科書	高等学校 新化学基礎 (第一学習社)		使用副教材 新課程版 ネオパルノート 化学基礎【第一学習社】

目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	9 (9)	序章 化学と人間生活 第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成	○積極的に観察、実験などの活動に取り組んだか。(知・主)【実験】 ○正確に観察、実験に取り組めたか(知・思)【実験・提出物】 ○物質とその変化への興味関心を高めたか(主)【提出物】 ○学習内容の理解と定着(知・思)【定期考査】
	5	11 (20)	物質の分離 物質を構成する元素	
	6	11 (31)	物質の三態 原子の成り立ち 中間考査	
	7	8 (39)	元素の周期律と周期表 第2節 化学結合	
	8	4 (43)	イオン結合 イオンからなる物質 共有結合 分子からなる物質	
	9	10 (53)	金属結合と金属結晶 期末考査	
1学期計		(53)		
二学期	10	11 (11)	第2章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 物質と化学反応式	1学期に同じ 中間考査 年度末考査
	11	12 (23)	第2節 酸・塩基とその反応 酸と塩基 中和滴定	
	12	8 (31)	第3節 酸化還元反応 酸化と還元	
	1	9 (40)		
	2	0 (40)		
	3	0 (40)		
2学期計		40		
授業時間総計		(93)		

# 令和6年度 シラバス

2023.4

教科	科目名	単位数	クラス
理科	生物	4	3年選択D
使用教科書	高等学校 生物	使用副教材	エッセンスノート 生物 (啓林館)

目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	13 (13)	第1部 生物の進化 生物の進化 有性生殖と遺伝的多様性	○積極的に観察、実験などの活動に取り組んだか。(知・主)【実験】 ○正確に観察、実験に取り組めたか(知・思)【実験・提出物】 ○生物や生物現象への興味関心を高めたか(主)【提出物】 ○学習内容の理解と定着(知・思)【定期考査】
	5	16 (29)	進化のしくみ 生物の系統 第2部 生命現象と物質	
	6	15 (44)	生命と物質 代謝 中間考査	
	7	9 (53)	第3部 遺伝情報の発現と発生 遺伝情報の複製 遺伝子の発現	
	8	6 (59)	遺伝子の発現調節 発生と遺伝子の発現	
	9	12 (71)	期末考査	
1学期計		(71)		
二学期	10	10 (10)	バイオテクノロジー 第4章 生物の環境応答	1学期と同じ
	11	14 (24)	刺激の受容と応答 動物の行動 植物の環境応答 中間考査	
	12	12 (36)	第5部 生態と環境 個体群と生物群集	
	1	8 (44)	生態系 年度末考査	
	2	0 (44)		
	3	0 (44)		
2学期計		44		
授業時間総計		(115)		



# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
保健体育	体育	3	3年
使用教科書	0		使用副教材 ステップアップ高校スポーツ

目標	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	7 (7)	・オリエンテーション ・集団行動・体育理論・体づくり運動	○(知)技の名称や行い方、体力の高めかた、課題解決の仕方などについて理解している。 ○(技)各单元における新たに学習する基本的な一連の動きを滑らかに安定させて行うことができる。 ○(思)課題解決の課程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ○(主)自己の状況に関らず、仲間のプレーや取組みを讃えようとしている。
	5	10 (17)	・体育理論・体づくり運動 ・スポーツテスト	
	6	9 (26)	・スポーツテスト ・選択球技(バスケ、バレー、サッカー、ソフトテニス)	
	7	9 (35)	・選択球技(バスケ、バレー、サッカー、ソフトテニス) ・クラスマッチ種目練習	
	8	4 (39)	・陸上競技(長距離走)	
	9	8 (47)	・陸上競技(長距離走) ・現代的なリズムのダンス	
1学期計		47		
二学期	10	8 (8)	・陸上競技(長距離走) ・現代的なリズムのダンス	一学期と同様
	11	11 (19)	・選択球技(バドミントン、卓球、バスケットボール)	
	12	9 (28)	・選択球技(バドミントン、卓球、バスケットボール)	
	1	13 (41)	・体育理論・体づくり運動・ウィンタースポーツ ・選択球技(バドミントン、卓球、バスケットボール)	
	2	0 (41)		
	3	0 (41)		
2学期計		41		
授業時間総計		(88)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
芸術	音楽Ⅲ	2	3年
使用教科書	Joy of Music		使用副教材

目標	芸術的な能力を伸ばし、美に対する感性を高めると共に生涯にわたり愛好する心構えを育てる。
----	---

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	6 (6)	日本音楽を2曲歌う イタリア音楽を歌う	○曲種に応じた発声、身体の使い方が理解出来たか(知・思) ○歌詞の意味を理解し、表現出来たか(知・意) ※TF各連の正しい立ち、歴史的背景が理解出来、音楽の美しさを味わって聞くことが出来たか(知・思・主)[提出物] ○音符の長さを理解し、リズム作りが出来たか(知・思)[提出物] ○映画音楽のストーリー(絆・思いやり)と音楽の美しさを鑑賞出来たか(思・主)[提出物] ○世界には多種多様な音楽と楽器があることが理解出来、鑑賞出来たか(知)[提出物] ○課題に積極的に取り組み、工夫と改善をしようとしたか(主)
	5	10 (16)	ドイツ音楽家CD鑑賞 楽器(ピアノ、ギター)	
	6	6 (22)	映画音楽のDVD鑑賞	
	7	4 (26)	自由DVD鑑賞	
	8	4 (30)	ドイツ音楽を歌う	
	9	6 (36)	日本音楽を歌う 実技テスト(歌唱)	
1学期計		(36)		
二学期	10	8 (8)	オーストリア音楽家CD鑑賞 オーストリアとイタリア音楽を歌う	
	11	8 (16)	日本音楽を歌う 自由DVD鑑賞	
	12	6 (22)	クリスマスソングを歌う 楽器(ピアノ、キーボード、ギター)	
	1	4 (26)	映画音楽DVD鑑賞 実技テスト(器楽)	
	2	0 (26)		
	3	0 (26)		
2学期計		26		
授業時間総計		(62)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
美術	美術Ⅲ	2	3A
使用教科書	日本文教出版		使用副教材
			0

目標	①創造活動を通して、表現と鑑賞の能力をいっそう高める。 ②美術に対する理解を深め、美術文化を尊重する態度を育てる。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	6 (6)	○作家研究 ・現代の美術の多様性を知る。	○材料や用具の扱い方を身につけられたか。(知) ○課題を理解し、発想や構想ができたか。(思) ○工夫して表現できたか。(知・思) ○主体的に美術の活動に取り組んだか。(主) ○作品を鑑賞し、見方や感じ方を広げられたか。(主)
	5	10 (16)	・美術文化について理解を深める。	
	6	6 (22)	○思い出の場所を描く ・油彩による絵画制作。	
	7	4 (26)	・さまざまな技法を使い、工夫して表現する。	
	8	4 (30)	○オリジナルTシャツ制作 ・シルクスクリーンの技法を理解する。	
	9	6 (36)	・多色刷りの技法をマスターする。	
1学期計		(36)		
二学期	10	8 (8)	○読書感想画 ・本・主題の設定。	1学期と同様
	11	8 (16)	・油彩による絵画制作。 ○ジオラマ制作	
	12	6 (22)	・未来の家を考えて作る。 ・建築のデザイン性を理解する。	
	1	4 (26)	○卒業制作 ・オリジナル免許証入れの制作。	
	2	0 (26)	・伝統工芸のよさについて理解を深める。	
	3	0 (26)		
2学期計		26		
授業時間総計		(62)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
英語	英語コミュニケーションⅡ	2	3年A組
使用教科書	Amity English Communication II (開隆堂)	使用副教材	テスト式就職英語 (中部日本教育文化会)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり的確に伝えたりする基礎的な能力を養う。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	7 (7)	課題テスト、振り返り L9 Street Performers	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	5	8 (15)	L10 The Culture of Selfies	
	6	6 (21)	中間考査	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	7	6 (27)	L11 Finland	
	8	5 (32)	課題テスト	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	9	7 (39)	L12 In Order to Live a Happy Life 期末考査	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
1学期計		(39)		
二学期	10	7 (7)	L12 In Order to Live a Happy Life	
	11	7 (14)	READING Cremona	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	12	7 (21)	中間考査	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	1	5 (26)	課題テスト、振り返り、年度末考査	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	2	0 (26)		
	3	0 (26)		
2学期計		26		
授業時間総計		(65)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
英語	論理・表現Ⅱ	4	3年選択G
使用教科書	Hope Vision Quest English Logic asnd Expression Ⅱ (啓林館)	使用副教材	自主教材等

目標	日常的な話題や社会的な話題について、英語の多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝え合ったり、立場や状況が異なる相手と交渉したりすることができるようにする。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	13 (13)	Lesson 1 What is your future goal? Lesson 2 What school events do you have?	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	5	16 (29)	Lesson 3 Who is the best athlete?	
	6	15 (44)	Lesson 4 Is social media safe? 1学期中間考査	
	7	9 (53)	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	
	8	6 (59)	Lesson 6 What are some differences?	
	9	12 (71)	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? 1学期末考査	
	1学期計	(71)		
二学期	10	10 (10)	Lesson 8 Is Japan open enough?	○英語を正確に理解しているか(知思)[テスト] ○積極的に課題に取り組んだか(主)[提出物]
	11	13 (23)	Lesson 9 What if you were rich? Lesson 10 How might AI affect our lives?	
	12	13 (36)	2学期中間考査 Lesson 11 What is healthy life?	
	1	8 (44)	Lesson 12 What is important when we sell chocolate? 年度末考査	
	2	0 (44)		
	3	0 (44)		
2学期計	44			
授業時間総計	(115)			

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
商業	情報処理	2	3D選択
使用教科書	実教出版「情報処理」		使用副教材 表計算模擬問題集(日本情報処理検定協会)

目標	①課題や目標に応じて、情報手段を適切に活用することを含めて必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、発信・伝達できる能力を育てる。②社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育てる。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	5 (5)	1章 企業活動と情報処理 1節 情報とは何か・情報システムとは・ビジネスとコンピュータを通して情報処理の重要性を学ぶ	・プレゼンツールの活用(知思)[提出物] ・課題へ取り組む姿勢(主)[提出物、試験]
	5	7 (12)	2節 情報モラルと法規 3節 コミュニケーションと情報デザイン 5章 プレゼンテーション	
	6	7 (19)	1節 プレゼンテーションの技法・プレゼンテーションの意義と必要性を学ぶ 2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション・プレゼンテーションソフトを利用し、演習する	
	7	5 (24)	3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計・表計算ソフトの活用例を理解し、統計の基礎を学ぶ。	
	8	1 (25)	2節 関数を利用した表の作成・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出すための技法を学ぶ 3節 グラフの作成 4節 情報の整列・検索・抽出	
	9	5 (30)	5節 問題の発見と解決法 1学期期末考査	
1学期計		(30)		
二学期	10	6 (6)	4章 ビジネス文書の作成 1節 ビジネス文書と表現・ビジネス文書の役割・構成を学ぶ	・計算式、関数の活用(知思)[提出物] ・課題へ取り組む姿勢(主)[提出物、試験]
	11	7 (13)	2節 基本文書の作成・ワープロを利用した社外文書や社内文書を作成する 2学期中間考査	
	12	4 (17)	3節 応用文書の作成・表計算、グラフなどを含んだ文書を作成できるようにする	
	1	4 (21)	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要	
	2	0 (21)	2節 情報通信ネットワークの仕組みと構成 3節 インターネットの活用 4節 情報セキュリティの確保	
3	0 (21)	学年末考査		
2学期計		21		
授業時間総計		(51)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
商業	ネットワーク活用	2	3F選択
使用教科書	実教出版「ネットワーク活用」	使用副教材	ホームページ作成模擬問題集(日本情報処理検定協会)

目標	①ネットワーク技術を活用するための知識や技能を習得し、ネットワーク活用に関する科学的な見方や考え方を身に付ける。②ネットワークが果たしている役割や影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育てる。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	5 (5)	1章 情報通信技術の進歩とビジネス 1節 ICTにより創造される新しいビジネス 2節 個人情報と知的財産の保護 3節 関連法規とガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンツールを活用したコンテンツの制作(知思)[提出物]</li> <li>・課題へ取り組む姿勢(主)[提出物]</li> </ul>
	5	6 (11)	2章 情報コンテンツの制作 1節 図形と静止画	
	6	7 (18)	2節 音声と動画 1学期中間考査	
	7	5 (23)	3章 企業情報の発信とWebデザイン 1節 Webページの制作とデザイン	
	8	2 (25)	2節 Webページ制作の基礎	
	9	5 (30)	3節 Webページ制作の応用 1学期期末考査	
	1学期計	(30)		
二学期	10	6 (6)	3節 Webページ制作の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HTMLによるWebコンテンツの制作(知思)[提出物]</li> <li>・課題へ取り組む姿勢(主)[提出物]</li> </ul>
	11	7 (13)	4章 インターネットと情報セキュリティ 2学期中間考査	
	12	4 (17)	5章 電子商取引とビジネス 1節 ネットワークを用いたビジネスと電子決済	
	1	4 (21)	2節 電子商取引サイトの開店準備	
	2	0 (21)	3節 Webページ制作と集客方法 4節 ビジネスの創造	
	3	0 (21)	学年末考査	
2学期計	21			
授業時間総計	(51)			

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
家庭	フードデザイン	2	3年G選択
使用教科書	フードデザイン Food Change Life(教育図書)	使用副教材	フードデザインワークノート

目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して食生活を総合的にデザインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を養う。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	6 (6)	学習を始めるにあたって(ガイダンス) 第1章 健康と食生活	○主体的に食生活を営むための必要な内容を理解できたか(知思) [提出物・テスト]
	5	8 (14)	第2章 栄養素・食品	○基本的な実習の技術が身についたか(知主) [作品・テスト]
	6	7 (21)	第4章 調理実習(1学期2学期合わせて10回程度) 《食物調理技術検定4級》に挑戦	○人々と協働し実習を行うことができたか(思主) [レポート・相互評価]
	7	6 (27)	中間考査 《食物調理技術検定3級》に挑戦	※実習は成績に大きく影響するため、欠席しない
	8	4 (31)	第3章 食品の選択と取り扱い	
	9	7 (38)	期末考査	
1学期計		(38)		
二学期	10	5 (5)	第5章 各国料理とコーディネート 第4章 調理実習(1学期2学期合わせて10回程度)	○主体的に食生活を営むための必要な内容を理解できたか(知思) [提出物・テスト]
	11	6 (11)		○基本的な実習の技術が身についたか(知主) [作品・テスト]
	12	7 (18)	第6章 食育と食育推進活動	中間考査 ○人々と協働し実習を行うことができたか(思主) [レポート・相互評価]
	1	7 (25)	フードデザインを学習して(まとめ)	※実習は成績に大きく影響するため、欠席しない
	2	0 (25)	年度末考査	
	3	0 (25)		
2学期計		25		
授業時間総計		(63)		



# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
家庭	保育基礎	2	3年G選択
使用教科書	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ (教育図書)		使用副教材 保育基礎 ワークノート

目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な資質・能力を養う。
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	6 (6)	学習するにあたって(ガイダンス) 第1章 子どもの保育	○主体的に保育生活の必要な内容を理解できたか(知思) [提出物・テスト]
	5	8 (14)	第2章 子どもの発達	○基本的な実習の技術が身についたか(知主) [作品・テスト]
	6	10 (24)	【保育技術検定 造形表現技術4級】へ挑戦	○人々と協働し実習を行うことができたか(思主) [レポート・相互評価]
	7	3 (27)	第3章 子どもの生活 【保育技術検定 造形表現技術3級】へ挑戦	※実習は成績に大きく影響するため、欠席しない
	8	2 (29)	【保育実習:乳幼児の抱き方・着替え方など】	
	9	6 (35)	【制作活動:壁面製作 おもちゃ製作など】	期末考査
1学期計		(35)		
二学期	10	5 (5)	第4章 子どもの福祉	○主体的に保育生活の必要な内容を理解できたか(知思) [提出物・テスト]
	11	7 (12)	【保育実習:離乳食・お菓子作りなど】	○基本的な実習の技術が身についたか(知主) [作品・テスト]
	12	7 (19)	第5章 子どもの福祉と子育て支援	○人々と協働し実習を行うことができたか(思主) [レポート・相互評価]
	1	5 (24)	発達と保育を学習して(まとめ)	※実習は成績に大きく影響するため、欠席しない
	2	0 (24)		
	3	0 (24)		
2学期計		24		
授業時間総計		(59)		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
卒業研究	卒業研究Ⅲ	2	3年次
使用教科書	なし		使用副教材
			なし

目標	探究活動を通じて論理的思考や表現力を養い、自己のキャリア形成に活かせるようになる。また、研究の集大成としてプレゼンテーションを成功させる。
----	---

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	6 (6)	オリエンテーション 研究テーマ設定 (研究計画作成及び方向性の確認等)	○2年次までの研究を確認し、テーマを確定させて研究の計画を作成することができたか [姿勢・提出物]  ○研究の深化を図ることができたか(思主) [姿勢・提出物]  ○ここまで(中間)の研究をまとめてスライドを作成し、プレゼンテーションに取り組むことが [姿勢・提出物]
	5	6 (12)	探究活動(資料収集・調査研究)	
	6	6 (18)		
	7	8 (26)		
	8	4 (30)	研究報告書作成	
	9	6 (36)	研究報告書提出(1次) プレゼンテーション準備	
1学期計		36		
二学期	10	6 (42)	プレゼンテーション準備	○他人に分かりやすくプレゼンテーションすることができたか(知思) [提出物・相互評価]  ○人々と協働し実習を行うことができたか(思主) [レポート・相互評価]  ○発表態度良く、適度な表現でプレゼンテーションすることができたか(知思主)  ○指定した文章量、テーマ設定理由と調査研究のまとめが合致しているか(知思主) [提出物・相互評価・総合評価]
	11	6 (48)	プレゼンテーション	
	12	7 (55)	校内卒業研究発表会(12/11) 研究報告書提出(2次) 卒業研究金山中学校プレゼンテーション(12/18)	
	1	7 (62)	卒業研究・課題研究合同発表会(本校との合同 1/24) まとめ及び自己評価	
	2	3 (65)	社会人としての心構え(外部講師招聘)	
2学期計		29		
授業時間総計		65		

# 令和6年度 シラバス

2024.4

教科	科目名	単位数	クラス
金山タイム	金山タイム	1	1・2・3年次
使用教科書	なし		使用副教材 各講座ごと

目標	<p>(1) 生徒が生まれ育った地域の人達から学び、地域への愛着心を育て、地域に貢献したいという気持ちを育む。</p> <p>(2) 地域の様々な達人とふれあい、好ましい人間関係のあり方を学び、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を身につける。</p>
----	--

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	0 (0)	オリエンテーション(1) 第1回活動(6) 第2回活動(6) 第3回活動(6)	○事前の学習・準備(主) ○目的意識と姿勢・積極性(主) ○講師への礼儀や態度(主) ○協調性(主) ○活動記録やまとめの整理(知) ○活動成果の明確化(思) ○成果や課題の整理と表現・伝達(思) ○活動を振り返り、考え方や見方の変化を明確にとらえる(主)
	5	1 (1)		
	6	6 (7)		
	7	6 (13)		
	8	0 (13)		
	9	6 (19)		
1学期計		(19)		
二学期	10	10 (10)	第4回活動(6) フェスティバル準備(4) フェスティバル(3)	
	11	3 (13)		
	12	0 (13)		
	1	0 (13)		
	2	0 (13)		
	3	0 (13)		
2学期計		13		
授業時間総計		(32)		